

歴史の歴史（1）

自国史 National History と外国史 History of Nations

Japan, Chinese, Korean, German, French, American….

Japan, China, Korea, German, France, America….

教訓史、道徳史、摂理史、英雄史、….

Nation 民族 民族国家

Nationalism 民族主義 国家主義 愛国主義

Natio 出生 出自 種族 国家

Nation Française/ Frankreich

貴族：ゲルマン系フランク人の子孫 自由な民ゲルマン人の子孫で征服者の権利

庶民：ケルト系ガリア人の子孫 ローマ帝国の奴隷の子孫で被征服者

ポーランド

貴族（シュラフタ）：サルマタイ人の子孫

庶民：スラブ人

シュタイン

Monumenta Germaniae Historica ドイツの歴史文書

イベリア半島からバルト諸国まで

ドイツという国家と一致せず

近代歴史学 民族の歴史としての特徴

世界を民族に分ける（言語 空間 文化 政治的自立）

過去から現在まで一貫して連続

自己の共属性と他者の異質性の発見

自己＝正義 他者＝悪

古典文献学（史料の批判的検証 客観性を主張）

比較言語学（失われた過去と空間、系譜の再現）

民族考古学（民族の文化的痕跡の発見）

アカデミズムと外見的中立性

大学という組織と歴史学者が所属する社会階層（社会的中間層）

ランケ Leopold von Lanke、『ラテン及びゲルマン諸民族の歴史』*Geschichte der romanischen und germanischen Völker von 1494 bis 1514* (1824)

歴史家から歴史学者へ

演習（ゼミナール）形式を重視し、史料を方法的に分析し、経験的に解釈・判断

「本来いかにあったか Wie es eigentlich gewesen.」

外的批判と内的批判

外的批判：偽文書か否か、史料の背景、オリジナルかどうか、

内的批判：錯誤と虚偽、
レマルク Erich Maria Remarque、『西部戦線異状なし *Im Westen Nichts
Nues*』（1929年）に出てくる歴史家批判
ソシュールと言語論的転回
クローチェの「すべての歴史は現代史である」